

☆それでも、前に進む！ 銀メダルから得たもの 道徳感想 2020.5.27

僕はいろいろな大会などの勝負事で負けることはやっぱりありますが、その中で負けてもまた次があるからあきらめないという気持ちを持っていたかなと思うと、僕は負けた時は落ち込んでしまって、やっぱりあきらめようかなという気持ちもすこしは持っていたので、その気持ちをすべてなくして負けてもあきらめずに挑戦しつづけるという気持ちを持っていろいろなことをやっていこうと思いました。そして勝ち続けるには努力というものが要だと思し、努力が足りなかったら負けてしまうことがあるので、とにかく努力をしていこうと思いました。

生きていく中で壁にあたることは何度でもある。そのときは泣いても良いから絶対にあきらめないこと、乗り越えていくことが大切だと思う。きっと乗り越えた先では思わない何かを得ることができると思うから。

自分は始める前からできないとあきらめることが多いけれど、努力もしてないのに言い訳をしてしないのはやめようと思った。あきらめないことが大事だとわかった。あきらめそうになっても一回落ち着いたりすることが大事だと思った。悔しくてもそこから頑張ればまだ戻れると思うから、泣いても良いから、あきらめずに立ち上がって前に進まないといけないと思った。

僕も中体連の時、吉田選手と同じように勝てるだろと油断して、決勝に臨みました。泳ぎ始めたら一回おいつけず、今まで勝ってた人に負けました。「終わった」とそのときは思いました。涙が止まらなかったとき、いつも一緒に練習などをした友達に「泣くな。明日がある、総司なら勝てる」といってくれました。僕はそれが今でもよく覚えています。負けて悔しいときに友達が声をかけてくれたのは、すごい助けになりました。悔しいときは一人では立ち直れないくらい悔しいこともあります。友達というもの、先生というものはすごく自分にとってすばらしく、ありがたい存在なんだと改めて思いました。

負けはとても苦しくてつらいけれど、その負けを知る人だからこそ、本当の勝ったときの喜びをわかる人だと思うから、負けから次の自分につなげることが大切だと思った。

最後の試合だったり、次がないときだったら失敗できないし、すごくプレッシャーだと思う。負けて悔しかったり、苦しかったりするけど、応援してくれた人やさせてくれた人がいるから、前に進めるんじゃないかなって思った。すぐには立ち直れないけど、悔しい思いをわすれないでいたら、前に進める！！あきらめない！！

あきらめたらそこでし合い終了とある、僕なりの考えはあきらめたら次の試合が終了だぞという意味なのかなと思った。陸上でいうと、走っている途中でこけたりして順位が下がり悔しくて痛いけど、それでも前に進むということかなと思った。自分も小学校のときリレーで石につまずいてこけたけど最後まで走りきったから良かった。こおいう経験こそ「それでも前に進む」ということだなと思った。

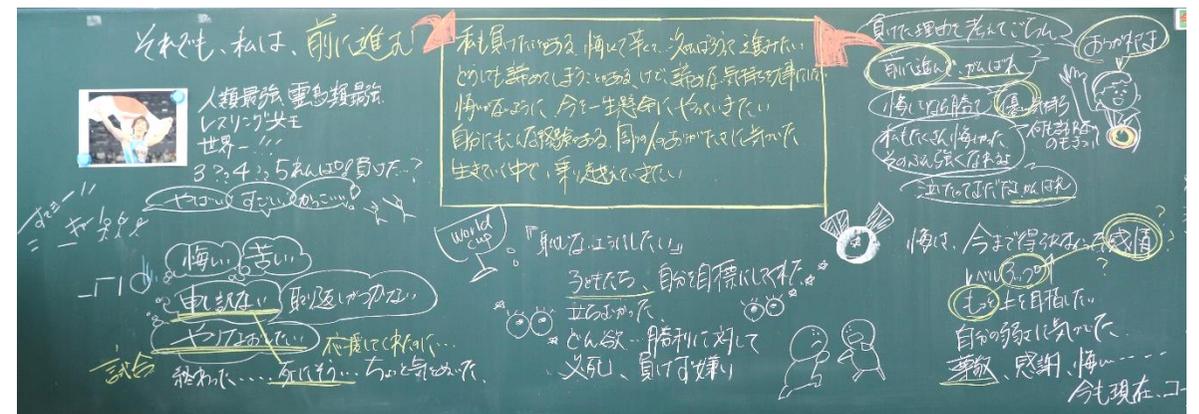
僕は、失敗から学ぶと言うことはとても大切なことだと思います。もちろん、成功し続けることにこしたことはないけど、一度失敗を経験することによって改善点が見つかったり、改善のために試行錯誤したりすることができる。それによって考え方が変わったり今までできなかったことができるようになるかもしれないと思います。失敗を恐れず挑戦し続けることで人は成長していくのかなと思いました。

もしじぶんがこういう風な負けを味わっても僕は努力をこの人ほどしてないから泣くことすらできないと思った。だから敗戦のあとにまず悔し泣きをできることがとてもうらやましく感じた。

誰かが落ち込んでいたら私は一言だけ「がんばったね」と言って後はそっとしておくなと思います。私だったら友達が声をかけてくれたら嬉しいけど、一人で考えて反省する時間もほしいし。とりあえず、自分で考えることは次に絶対つながると思うからです、私も負けた時、最初はすごく苦しい！辛い！って思います。だけど絶対にあきらめず、次に進もうと思えるのは、私は友達が励ましてくれたり、一緒にがんばってくれてる友達がいるからです。周りの友達は本当に大切だなと思いました。

悔しい思いとかをしたときは泣いてもいいと思うけど、その時のきつい思いを忘れずに、次にいかすことが前に進んでいくときに大事になるんじゃないかと思いました。後ろ向きに考えてちゃ進むことはできないから、前向きであきらめない心をもつのも重要だと思います。

去年の中体連、この試合に勝たないと団体で県大会にいけないという試合で負けてしまったのを思い出しました。その時は悔しくても、時間が経てば「あの時のミスはもうしない」と思えるようになりました。その自分の考えと吉田選手の考えは大会のスケールは違っても同じなんだと気づくことができました。最後の大会、悔いのないようにたくさん挑戦したいと思います。



何事にも一生懸命にがんばったらその分、結果が返ってくるんだなと思いました。私もいろんな事に挑戦しようと思いました。試合で負けたりとかしてもあきらめず前に進もうと思います。

自分も今後何か失敗したときにその失敗を忘れずにがんばりたいなって思った。吉田沙保里さんすごいなって思った。自分だったら負けたら次もダメかもってあきらめると思う。

すべての事がうまくいくわけないし、がんばったとしても努力が報われないこともある。一人一人負けて強くなっていく、だから、努力も大事だけどやっぱりこの先をどう考えるかによってその人の道がひらけるんだなと思いました。オリンピック選手にはユダヤ人が多いらしい、でもユダヤ人は誰でもなれるらしい、だから思い込みが大事らしい、だから私も自分を信じようと思いました。

私は負けたらすぐあきらめてしまっていたから、すぐあきらめないように前に進んでどんどん勝てるように倍練習して強い気持ちを持って前に進んでいきたいと思いました。すぐにあきらめてしまうくせをなおしていきたいと思いました。

自分も過去に何度も試合に負けたとき、悔しい気持ち、負けて心が折れそうになったときに、「次の試合までまだ時間がある。今から練習をしても遅くにはならない。むだじゃないんだ」って思い、次にはもっと強くなっているかもしれない気持ちで練習していこう。負けた時の気持ちも一つの大切なんだと思います。それでもやっぱ、勝った方が自分をあげてくれているんだと思います。吉田選手は皆からの「あたたかい目」「熱く応援している目」で見守られている愛されている人なんだと思いました。経験をつみかさねてきた人物は本当の自分の弱さ、強さ、気持ちを知っていると思います。

自分も部活の大会の決勝で負けて悔しかったけれど、悔しさをバネにして次勝てば良いなあと思いました。

相手を目指しながらその目標を目指して練習をする、そしたらきっと勝てる日がくると思う。だから勝つためには絶対努力が必要だと分かった。

たとえば自分が大きなけがをしたときや大事なところでミスをして負けたときはたぶんしばらくは立ち直れないと思う。そんな時に大事なのが同じことを繰り返さないことだと思う。だから今までしてきたミスを、もうしないように練習しようと思う。そして立ち直れないときに周りの仲間が必要なのだと思う。

どんなことも後悔することがないように一生懸命取り組むことが大切だなと思いました。自分は大会で負けたとき、けっこう引きずってしまうけど、切り替えて前を向くことが大切だなと思いました。失敗した時に見えてくることも多いと思うので、失敗の経験をどれだけ生かすことができるかが次につながるんじゃないかなと思いました。

試合などに負けたとしても、前に進むことが大事なんだなと思った。負けてもよくよせずに人一倍努力して次は勝てるように頑張ろうという気持ちをもつことが必要だと思った。

私は負けたことしかないし、勝ったときの気持ちがよくわからない。

悔しいことはたくさんあるけど、それを乗り越えて前に進みたいと思った。

失敗したり負けたりしてもあきらめない気持ちがあれば、立ち直れるんだなと思った。悔しいことなどがあって、人は強くなるんだなと思った。

人は皆このような事を体験している。

吉田さんも人一倍、努力して人一倍、練習して人一倍泣いたから日本に帰ったときに銀でよかったと思えたと思います。だから悔しくても前を向けたと思います。だから、泣いてもいいから、とにかく前を向くことが大事だと思いました。私も試合に負けて悔しい思いをしました。だからこそ、がんばろうって思えたんだと思います。悔しい思いをしても「悔しい」って思うから、次がんばろうと思えると思います。だから私も前に進みたいです。

もう、終わったことだと思う。

きっと勝ち続けていた人が負けてしまった時、いろんな思いがあると思います。でも後戻りはできないから、何が何でも前に進むしかないと思います！やっぱり泣いても時間のむだだから、強い意志をもって、前に進みたい！！

世界という大きな舞台でプレッシャーも期待もある中で負けてしまう、ということは本当に辛いことだと思うし、申し訳ないと思うようになってしまうと思います。けれど、そんな事があっても常に前を向いて目標に向かって進んでいくというのは精神的にもとてもすごいことだと思います。そのような精神があったからその後も世界を舞台に活躍できたんだなと思います。私もこれから色々な辛くて苦しいことがあると思うけれど、常に前を向いてがんばろうと思いました。